

自ら**学ぶ力**をはぐくむ  
**豊かな心**をはぐくむ  
**健康な体**をはぐくむ  
**郷土愛**をはぐくむ

# 県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして

校長 阿部 央

## 2021年がスタートしました。 ～進級・進学・令和3年度に繋ぐ3学期に～

新年あけましておめでとうございます。

1月8日（金）、厳しい冷え込みの中、第3学期がスタートしました。冬休み中の部活動を中止にしたため、1・2年生とは15日ぶりの再会となりましたが、元気な姿を見ることができ安心しました。3年生はいよいよ入試シーズンに本格突入しました。

収まる気配のない新型コロナウイルス感染症です。県内の感染状況も「ステージⅢ」相当であるとされました。不安を抱えながら「がまんの生活」がしばらく続くこととなりますが、進級・進学、そして令和3年度にしっかりと繋がるように教育活動を進めてまいりたいと考えております。

3学期の始業式で、校長から全校生徒に次のような話をしました。



新しい年を迎え、第3学期という新しい学期を迎えました。期する思いを心に秘めた人もいるかと思えます。何かが新しくなる時は、新たな気持ちとともに決意も新たにすることができます。

3学期は最も短い学期です。しかし、短い3学期でもやるべきことはたくさんあります。3年生は義務教育最後のまとめと進路先決定という大きな節目を迎えようとしています。4月からは環境が大きく変わります。今は新たなステージへ向かうための大切な準備期間です。何かが新しくなる時、自分の夢や目標、そして決意が生まれるものです。この機会にもう一度、自分は何がしたいのか、何ができるのかを考え、自ら決めた目標に向かってしっかり前進してほしいと願っています。やろうと決めたことを実践するために必要なものは決してあきらめない強い意志なのだろうと思います。

2学期の終業式で元プロ野球選手のイチローさんの話をしましたが、今日もイチローさんの話をさせてください。

彼は、日本のプロ野球とアメリカのメジャーリーグで様々な記録を塗り替えました。極めて高い集中力を持続し、自分自身との戦いで壁を乗り越えてきたのだろうと思います。自分の力を最大限に出し切るために、誰よりも早く球場に入り、試合に向けてかたくななまでに毎日同じ準備をしていました。柔軟体操、鏡の前でのスイング、外野での捕球練習など、無駄な時間は一切ないとも言われていました。試合で打席に入るときにはいつも決まってバットを片手で大きく2度回して立て、ユニホームの肩をつまみバッティング体制に入る。彼はこの行為を「ピッチャーとバッターの勝負に集中するためのものである。」と話しています。これが彼のルーティーンだったのだろうと思います。アスリートたちの多くから「最強の敵は自分自身の中にある」という言葉を聞きます。



これは何もスポーツの世界だけに限ったものではないと思います。受験勉強で考えてみても「そろそろこの辺でやめよう。いやもう少し頑張ってみよう。もう目一杯がんばったから終わろう。やっぱりあと1時間だけ頑張ってみよう。」自分の弱い心に打ち勝ち、少しずつでも前進することが大切なのだろうと思います。

2年生は1年後に、1年生は2年後に同じように受験の時期を迎えます。新型コロナに対する不安を抱えながらも、全力で進路実現に向けて取り組んでいる3年生の日々の姿からしっかり学び、受験を間近に控えたときの自分をイメージして生活してほしいと思います。

この夏は東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されています。アスリートたちの強靱な意志とたゆまぬ努力を参考にして、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。